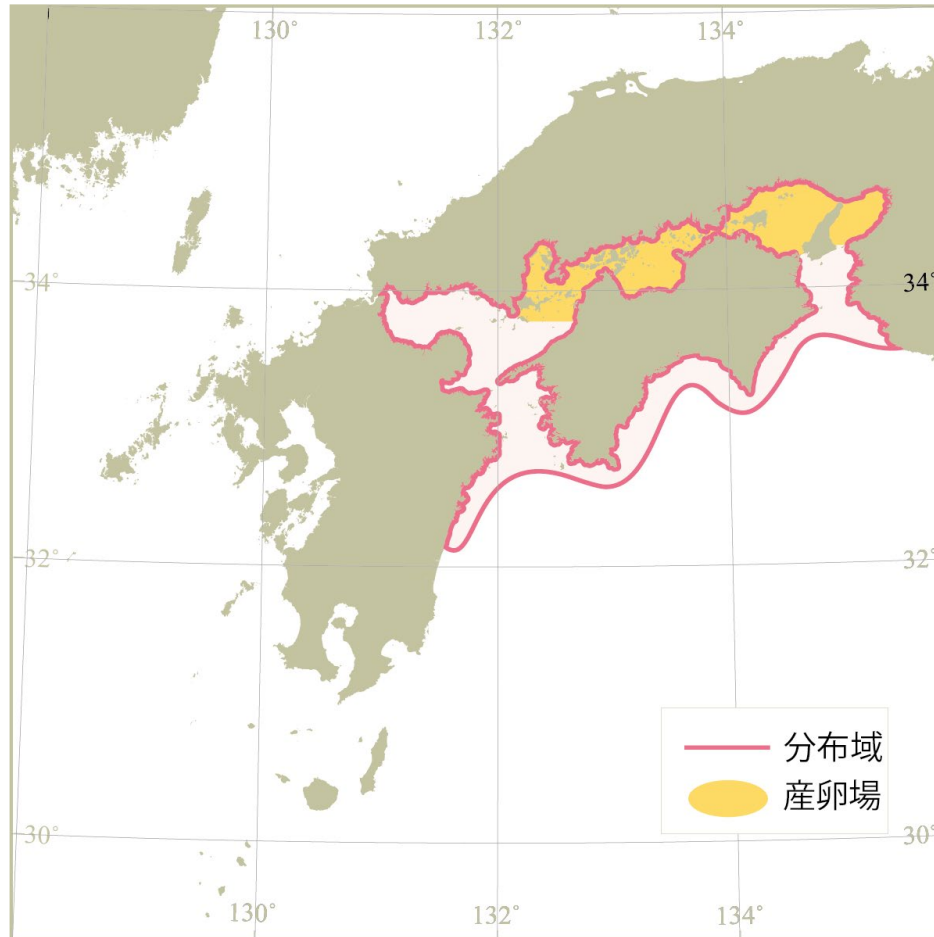




サワラ瀬戸内海系群 令和3年度資源評価結果

生物学的特性

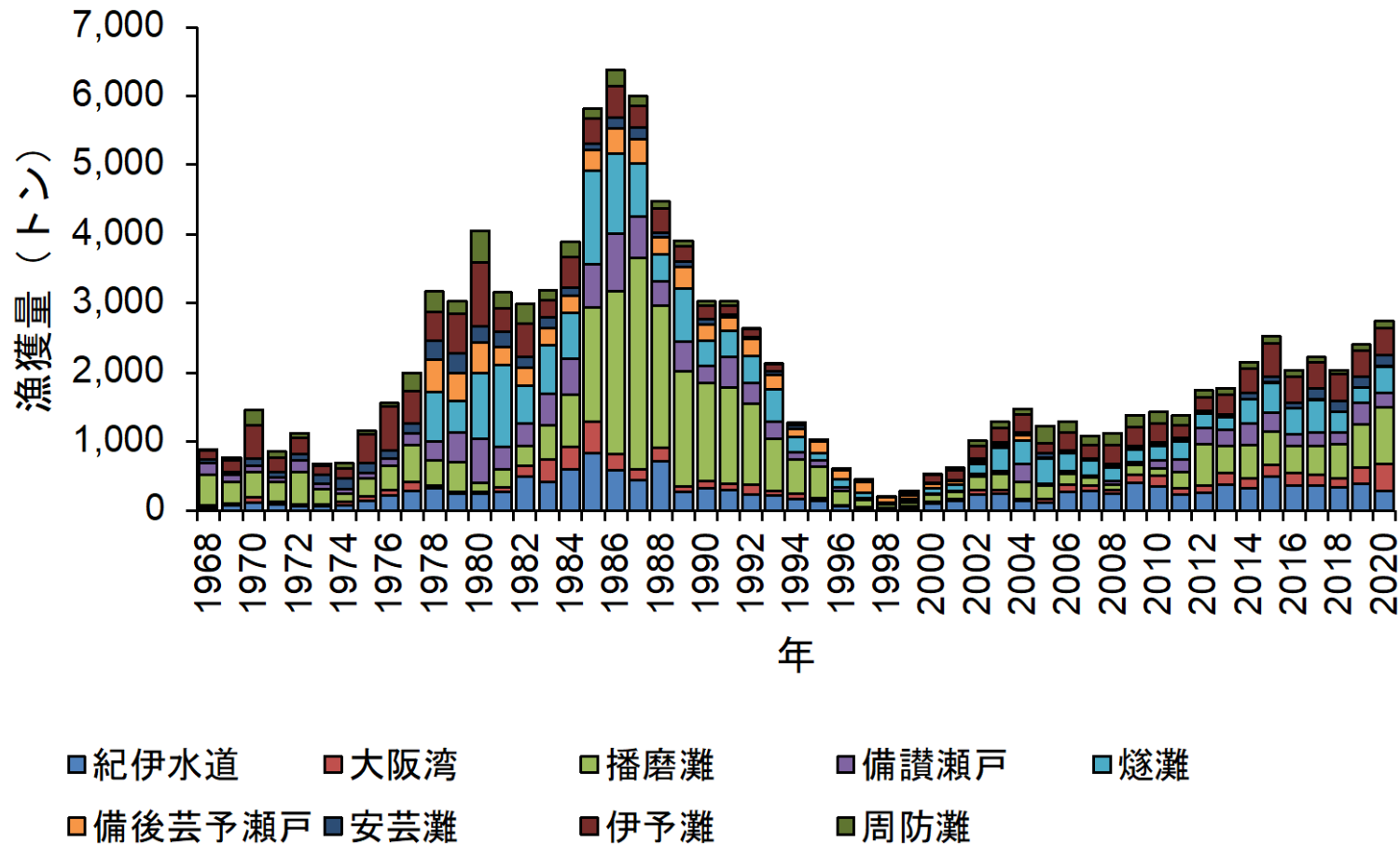


生物学的特性

- 寿命: 6～8歳(雌が長寿)
- 成熟開始年齢: 1歳(50%)
- 産卵期・産卵場: 5～6月
播磨灘、備讃瀬戸、燧灘、
安芸灘
- 食性:
稚魚はカタクチイワシ等の稚魚
成魚はカタクチイワシ、イカナゴ
等の魚類
- 捕食者: 不明

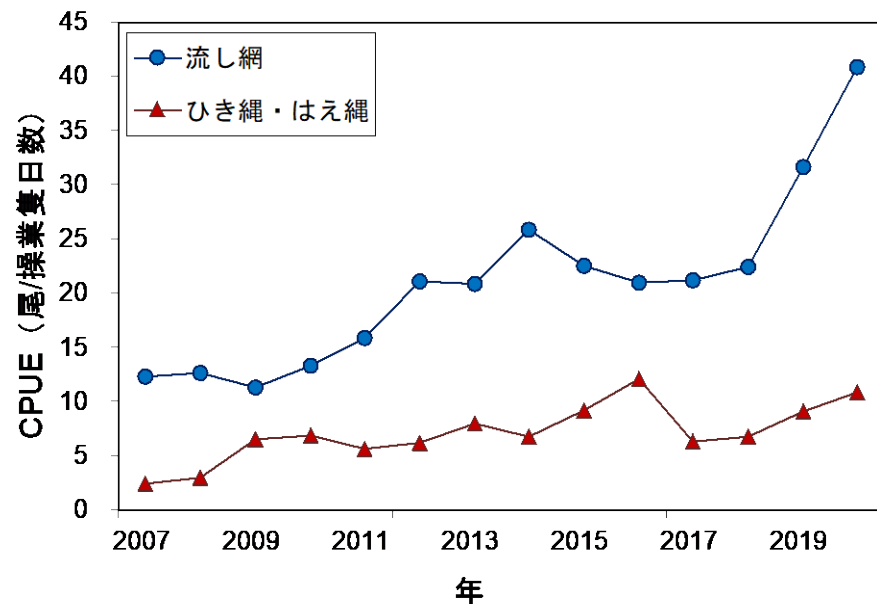
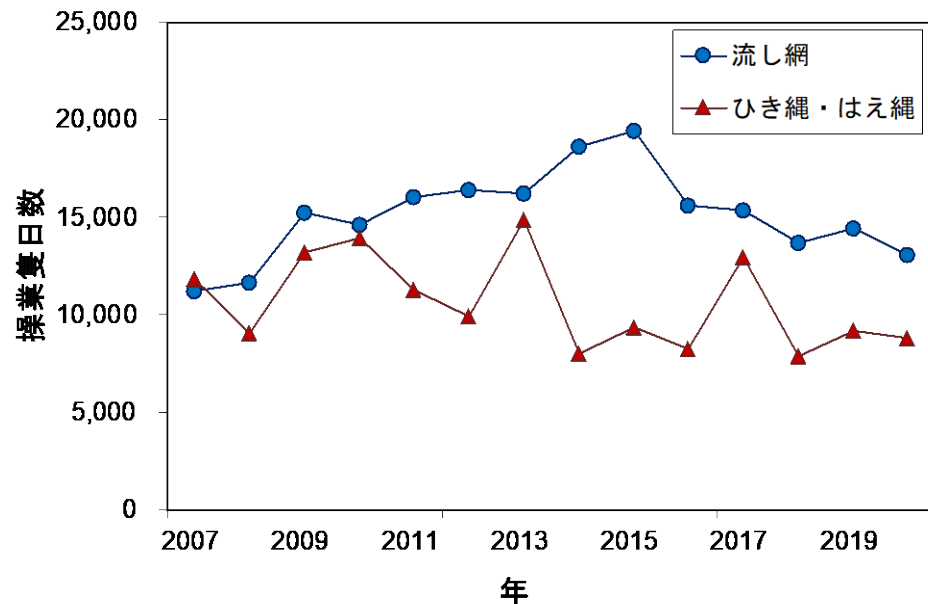
- 春季に瀬戸内海中央部へ来遊する1歳以上を、秋季に紀伊水道と豊後水道に移動する0歳以上を漁獲する

漁獲の動向①



- 2020年の漁獲量：2,746トン（2019年：2,398トン）
- 流し網漁業の割合が高く、次いでひき縄、はえ縄
- 2020年は8.4万尾の人工種苗が放流
放流魚の混入率は0.4%、添加効率は0.09と推定

漁獲の動向②

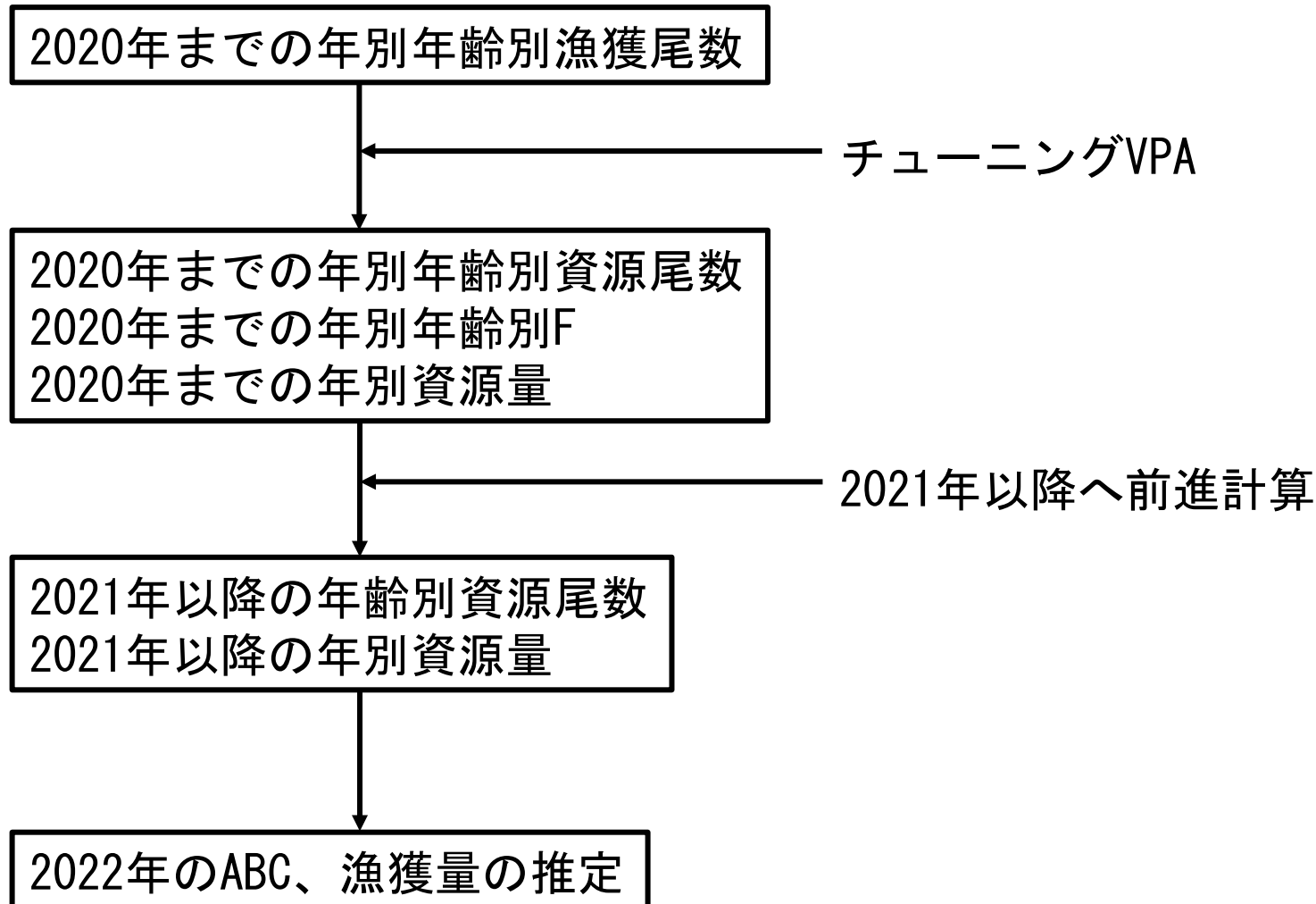


- 流し網の操業隻日数は、2016年以降、減少傾向
- ひき縄・はえ縄の操業隻日数は、減少傾向
- 流し網のCPUEは、2007年以降、上昇傾向で、2019年以降、著しく上昇
- ひき縄・はえ縄のCPUEは、2007年以降、上昇傾向

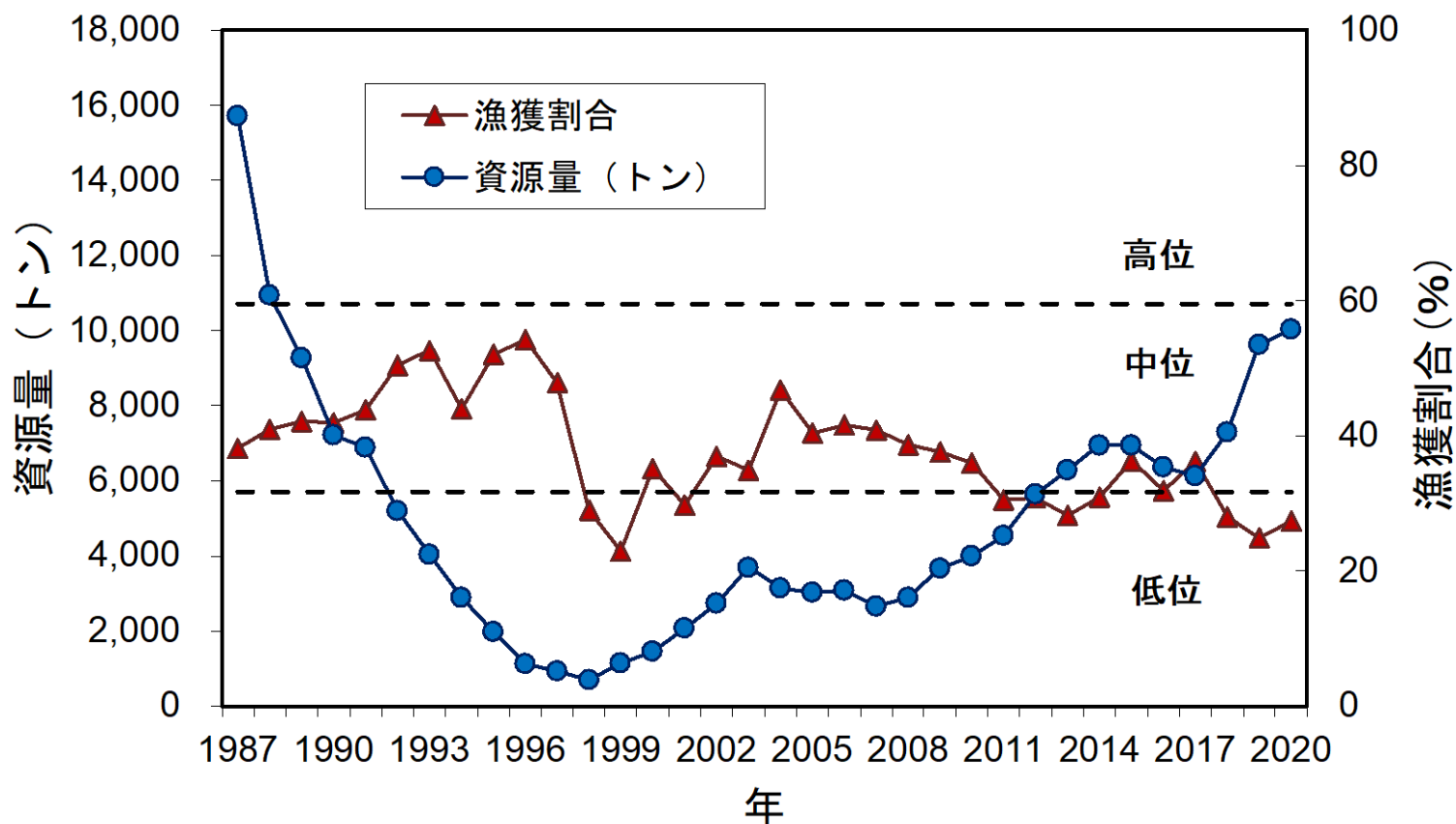
※操業隻日数：サワラを対象とした1隻ごとの操業日数を隻数で合算

※CPUE：操業隻日数当たりの漁獲尾数

資源評価の流れ



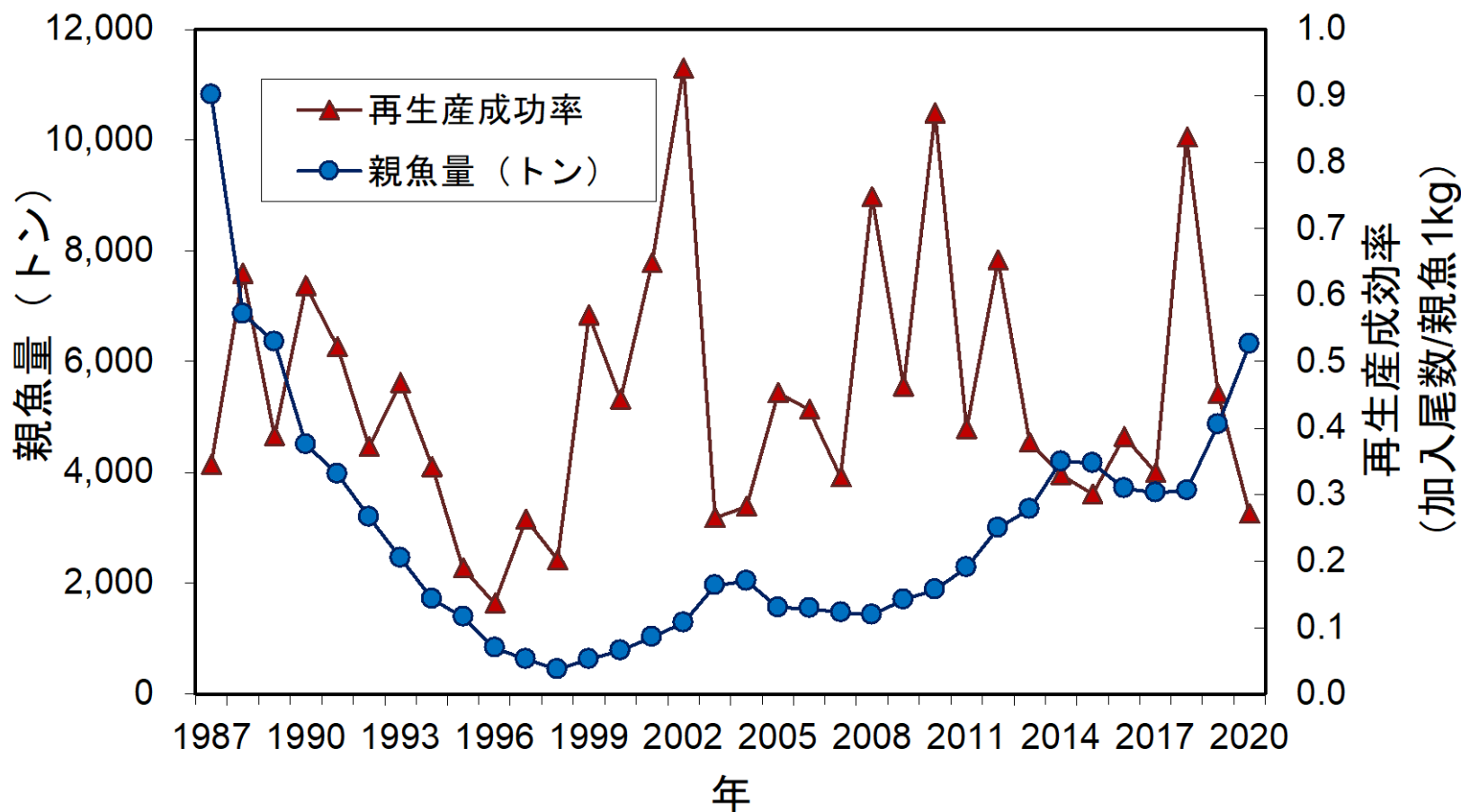
資源の動向①



※水準区分 低位／中位：5,698トン、中位／高位：10,708トン
(1987年以降の資源量の最高値と最低値との間を3等分して算出)

- 資源水準：2020年の資源量10,020トンから「中位」
- 資源動向：直近5年間の資源量の推移から「増加」

資源の動向②



- 親魚量：1999年以降、増加傾向（2020年は6,316トン）
- 再生産成功率：0.14尾/kg～0.94尾/kgで変動し、2020年は0.27尾/kg

資源評価のまとめ

- 資源水準は中位、動向は増加
- チューニングVPAによる資源量に基づいて資源状態を判断した

2022年ABC

管理基準	Target/ Limit	2022年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値か らの増減%)
Fcurrent	Target	2,758	22	0.44 (-20%)
	Limit	3,252	25	0.55 (±0%)

- Fcurrent : 2020年の漁獲圧

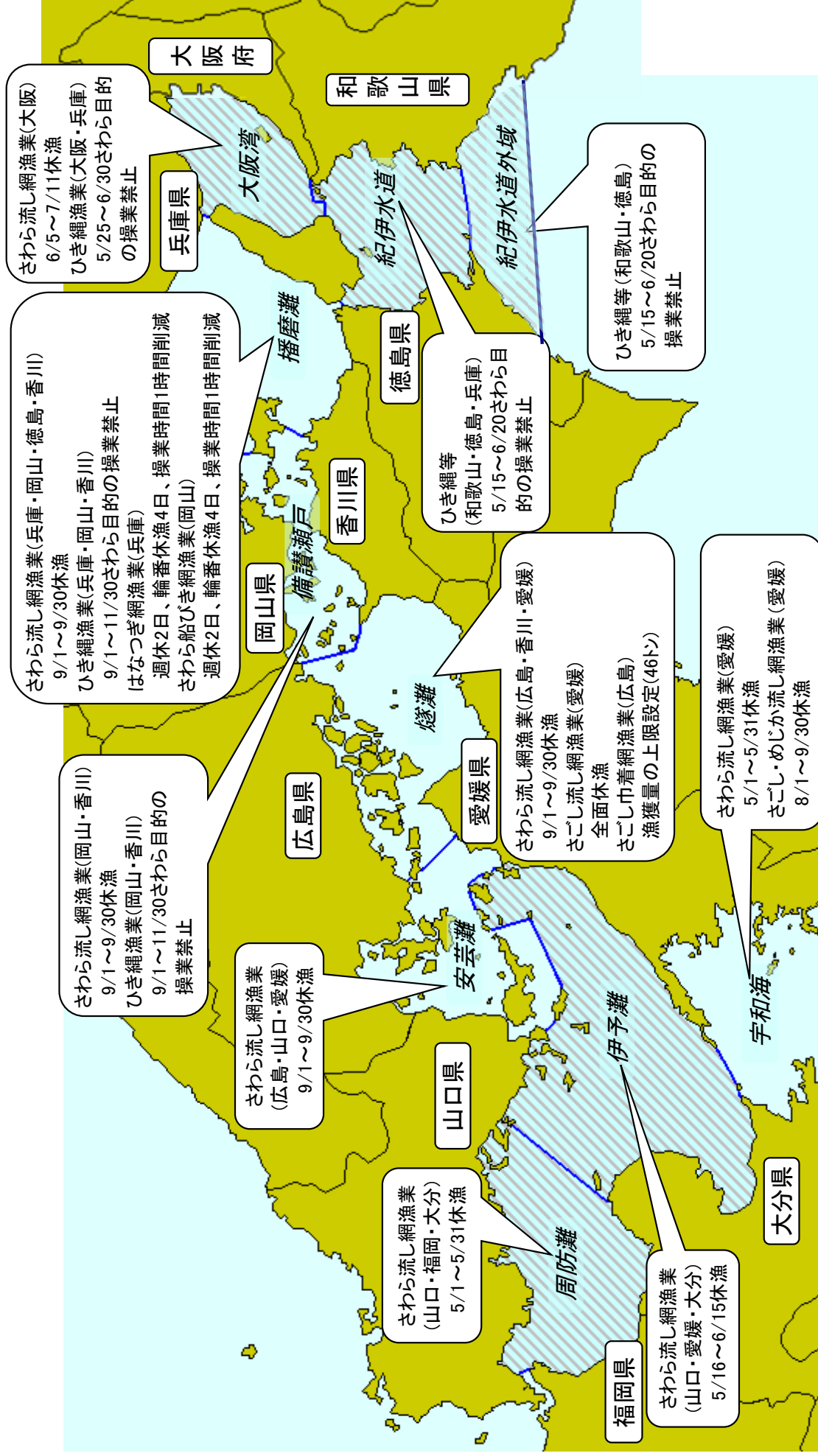
資料1－2

①漁獲管理措置(令和3年度) ……1頁

②令和3年度さわら広域資源管理の取組 ……2頁

③サワラの漁獲状況(各府県からの漁獲報告による) ……3頁

○漁獲管理措置(令和3年度)



※ 斜線部分は、春漁を規制

※ さわら流し網の網目10.6cm以上(瀬戸内海全域共通)

令和3年度 さわら広域資源管理の取組

1. 海域(灘)・漁業種類ごとの取組

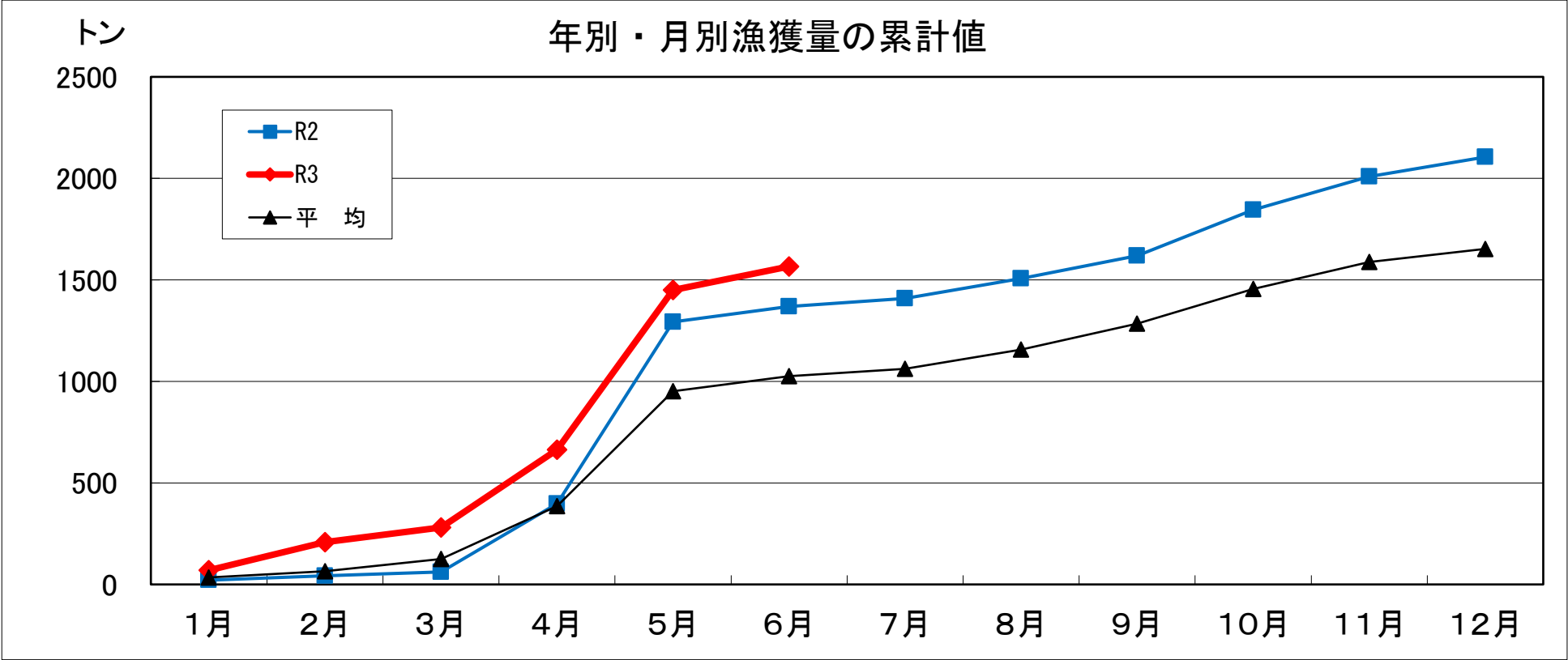
海 域	漁 業 種 類	規 制 措 置
紀伊水道外域	ひき縄等	さわらを目的とした操業の禁止 (5/15～6/20)
紀伊水道	ひき縄等	さわらを目的とした操業の禁止 (5/15～6/20)
大阪湾	さわら流し網	春漁(6/5～7/11)→休漁 網目→10.6cm以上
	ひき縄	さわらを目的とした操業の禁止 (5/25～6/30)
播磨灘	さわら流し網	秋漁(9/1～9/30)→休漁 網目→10.6cm以上
	ひき縄	さわらを目的とした操業の禁止 (9/1～11/30)
	はなつぎ網	火曜日、土曜日に加え、輪番により4日間 (5月13日、20日、27日、6月3日)の休漁 操業時間の1時間短縮
	さわら船曳網	火曜日、土曜日に加え、輪番により4日間 (5月2日、3日、5日、6月16日)の休漁 操業時間の1時間短縮
備讃瀬戸	さわら流し網	秋漁(9/1～9/30)→休漁 網目→10.6cm以上
	ひき縄	さわらを目的とした操業の禁止 (9/1～11/30)
燧灘	さわら流し網	秋漁(9/1～9/30)→休漁 網目→10.6cm以上
	さごし巾着網	漁獲量→年間46トを上限
	さごし流し網	全面休漁
安芸灘	さわら流し網	秋漁(9/1～9/30)→休漁 網目→10.6cm以上
伊予灘	さわら流し網	春漁(5/16～6/15)→休漁 網目→10.6cm以上
周防灘	さわら流し網	春漁(5/1～5/31)→休漁 網目→10.6cm以上
宇和海	さわら流し網	春漁(5/1～5/31)→休漁
	さごし・めじか流し網	8/1～9/30→休漁

(注) 9/1以降の許可を秋漁とする。

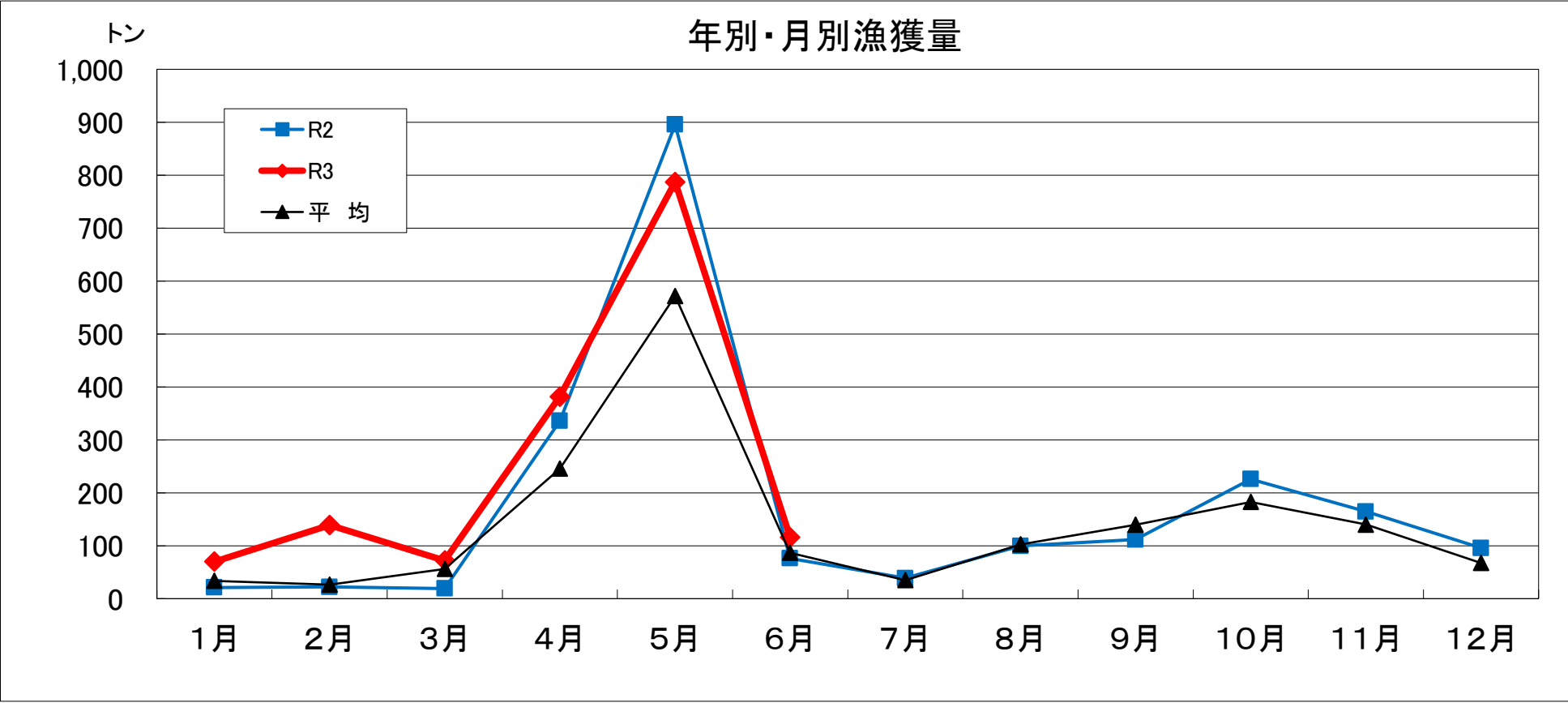
2. その他資源管理への取組

上記1の措置のほか、従来から取り組んでいる措置(定期休漁日、船上受精卵放流等)については、その取組を継続するよう努める。

サワラの漁獲状況（各府県からの漁獲報告による）



※瀬戸内海隣接海域含む
注) 平均はH28年～R 2 年の平均値



※瀬戸内海隣接海域含む
注) 平均はH28年～R 2 年の平均値